

地域医療は面白い！ プロフェッショナリズムが 地域医療の原点

2015. 6. 11
東京大学医学教育セミナー

東京大学医学教育国際研究センター
北村 聖

自己紹介



- 北村 聖 きたむら きよし
- 金沢大学教育学部付属高校卒業
- 昭和53年 東京大学医学部医学科卒業
- 第三内科(血液研究室)、免疫学教室、臨床検査医学を経て
- 現職 東京大学医学教育国際協力研究センター・東大病院総合研修センター
- 専門：医学教育、内科学、血液学、免疫学 臨床検査

アフガニスタンの医学教育 1



アフガニスタンの医学教育 2



アフガニスタンの医学教育 3



ラオス LAOS セタティラート教育病院



**ラオス LAOS
セタティラート教育病院**



地域医療の訪問

- へき地
- 離島
- 独特な活動
- 研修病院

- 約8年
- 50か所



地域医療は面白い！

- 48施設の訪問記
- 1 支え合うへき地の医療
- 2 地域を見守る町づくり
- 3 患者本位の医療を目指して
- 4 専門は「わが島」
- 5 地域を癒やすアイデア医療
- 6 受け継がれる意志



島 神島 奥野正孝先生



島 神島 奥野正孝先生

- 地域医学 取材の原点
- 自治医科大学1期生

- 「自分の専門は神島です」
- 神島のことは自分がいちばん知っている
- 神島に必要な医療は全部勉強してくる

- 父も地域医療医



島 焼尻島 貞本晃一先生



島 焼尻島 貞本晃一先生

- 北海道庁医師職 No1
- 医師がいないために無人島にすることはできない
- 限界の島であることはわかっているが・
・
- 僻地医療医の支援のあり方
 - 子育て支援
 - 代診



島 隠岐島 白石吉彦・裕子先生



島 隠岐島 白石吉彦・裕子先生

- 自治医科大学の同級生
- 学生・研修医・看護師の教育
- 熱血漢
 - 東日本大震災でまっさきに駆けつけ
- 人生の楽しみ方を知っている



島 久賀島 津田修先生



島 久賀島 津田修先生

- 東大の先輩
- 社会保険中央病院
- 開業→成功したので地域へ
- もともと総合診療志向



島 与論島 古川誠二先生



バナウル診療所

島 与論島 古川誠二先生

- 与論島はかつて日本最南端の島として観光で賑わった
- 現在は 寂れている
- パナは花、ウルはサンゴ礁
- 与論島に来て 25年以上
- まったく カミがない診療

島 宮古島



島 宮古島 泰川恵吾先生

- 診療所半分、在宅半分
 - 宮古島だからこそ在宅診療
 - 住民の希望を叶えるのが医師
- ジェットスキー
 - マリンスポーツはすべて
- 泡盛で酒盛

半島 紀南病院

- 紀伊半島 三重県の最南端
- 東大の研修医が地域医療を学ぶ





巡回診療



浅里診療所

昔の小学校を診療所としている。
2週間に1回紀南病院の医師が訪問。



半島 勝浦温泉病院



半島 勝浦温泉病院 山本康久先生

- 和歌山労災病院から赴任
- 医師集めが仕事・・・
- 那智勝浦町の名士

- コメディカルの教育：糖尿病での連携



半島 能登 穴水病院

- 金沢医科大学地域医療研究所が併設
- 東大病院研修医が地域医療を学んでいる



一面トップ 2011・2・2



石川県穴水町

人口：9,738名
立地：金沢駅より車で1.5時間
能登空港より車で10分

気候：
年間平均気温約13度。年間降水量約2,000mm。1月、2月には降雪があり、一部地域では車の入れない場所もあり。しかし、北及び西の丘陵が風をさえぎるため、能登半島では、比較的穏やかである。

主な産業：農林水産業

能登「まいもん」：

春はいさざ、夏はさざえ、秋は栗、冬はカキ。また、能登牛など有名。山菜やワインも楽しめる。



兜診療所



常勤医師：1名
1日の来院者：20名前後
検査：レントゲン、採血（公立穴水病院に検体を搬送）



包括支援センター

小規模多機能型施設
訪問介護／デイサービス／
ショートステイを担う
介護医療評価



石巻災害医療派遣

石川県チーム
医師1名+研修医2名
看護師2名
調整員2名
雄勝地区を担当

コーディネーター病院
石巻赤十字病院

担当地区を割り当てられ、
地区内の避難所を巡回診療する



半島 むつ総合病院



むつ総合病院

- 下北半島の医療を一手に担っている
- 研修医教育 フルマッチ
- 症例の数とバリエーション
- 地域連携



山 松原診療所



山 松原診療所 宜保美紀先生

- 山奥のそのまた山奥
- 小説白い巨塔では、正義の内科医が飛ばされたところ
- 一人診療所
 - 子育て
 - 生涯教育
 - 代診



山 宮崎 椎葉村



椎葉村国保病院 吉持巖信先生

- 熊本のほうが近い
- うちが山肌へばりついている
 - 在宅医療が大変
- 苗字が数種類
 - 医療安全



山 むつみ診療所



山 むつみ診療所 前川恭子先生

- 村の合併でむつみ村に
- さらに萩市に合併
- 林業と農業
 - 生活の営みと一体化した診療
- 萩市から通勤
 - 家庭と仕事



山 名田庄



山 名田庄 中村伸一先生

- NHKプロフェッショナル
- カリスマヘキ地医
- 実際は堅実！
- 教育熱心
- 一緒に往診に

- 桜は日本一
- 奥さんは保健師



山 雪国大和病院



山 ゆきぐに大和病院 新木一弘先生

- 元厚労省医系技官
- 元文科省医学教育課長
- もともと地域医療をやりたいかった
- そのため公衆衛生を学んだ

- お役人の時よりいきいき！
- 八海山を見ながら八海山



山 音威子府診療所



山 音威子府診療所 若山芳彦先生 曜子先生

- 千葉の大病院の外科部長
- 定年前に憧れのへき地区に
- 極寒の 超へき地に・・・
- スキー・ゴルフ全部貸切状態

- 自分が腎癌に・・・
- 奥さんは眼科医
 - 入植以来の眼科医



山 日南病院



山 日南病院 高見 徹先生

- 「町は大きな病院
 - あなたにとって
 - 自宅は個室
 - 道は廊下
 - 病院は集中治療室
 - いつでも入院できます
- 安心して家で療養しましょう」
- 東京の30年先がここにある



2012年度 地域医療研修報告

在宅医療



東京大学医学部附属病院研修医
11A 西原知里

総人口:1457280人

65歳以上人口:379794人

高齢化率:26.06%(全国:
22.7%)

医師数:東京の10分の1

10万人当たり医師数:225.2人
(東京:266.6人)



医療法人
ゆうの森 概要

●外來を行なわない「訪問診療専門」の診療所

●24時間365日の往診体制を実現→地域の最期の皆

●600名を超える在宅患者

●11名の医師にて診療

●看護師22名、PT3名、OT5名、CM2名、介護士12名、マッサージ3名、事務20名 staff計80名

●電子カルテ・iphone端末、掲示板と毎朝のカンファによる情報共有



経験症例

訪問診療

- 神経難病 (ALS、SCD、アルツハイマー病、パーキンソン病)
- 脳血管障害後遺症
- 脊髄損傷
- 各種癌の終末期
- 精神科疾患 (統合失調症)
- 小児先天性疾患 (脳性麻痺、Prader-willi, Pierre Robin症候群、DCM)
- 人工呼吸器・CV管理

・・・etc

1日平均往診人数 75人

実習期間中の看取り人数7人

僻地診療：一般外来

高血圧・糖尿病管理、外傷処置、小児の発熱や下痢

とある1日



8:30 朝meeting



9:30 診療開始





在宅医療は今後必要とされる分野です！
たんぽぽクリニックで一体感のある医療を体験してみてください。



ご清聴ありがとうございました。

<http://www.tampopo-clinic.com/>
研修版ページもあります

たんぽぽクリニック

検索



死 名古屋 杉浦医院



2012年4月逝去 享年59歳



死 宮城 岡部医院 岡部健先生



岡部健先生

2012年9月27日逝去 享年63歳

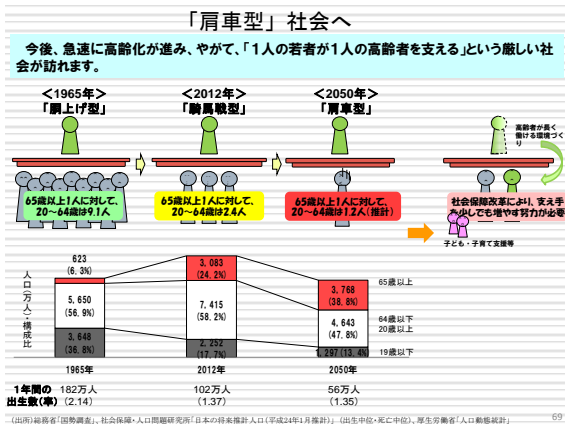
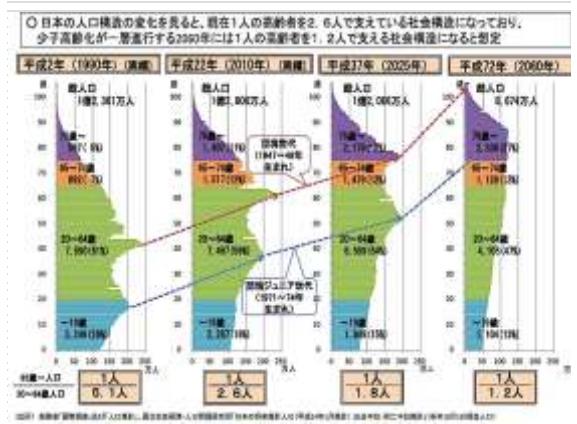
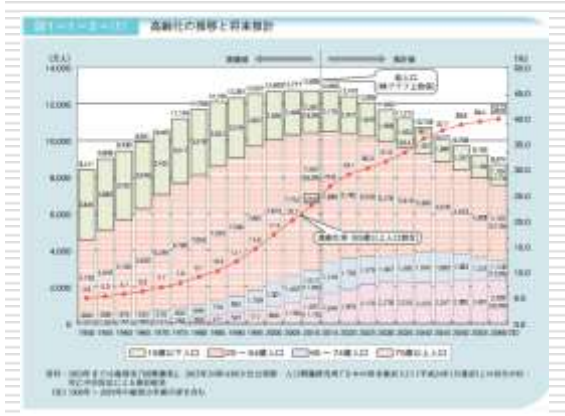
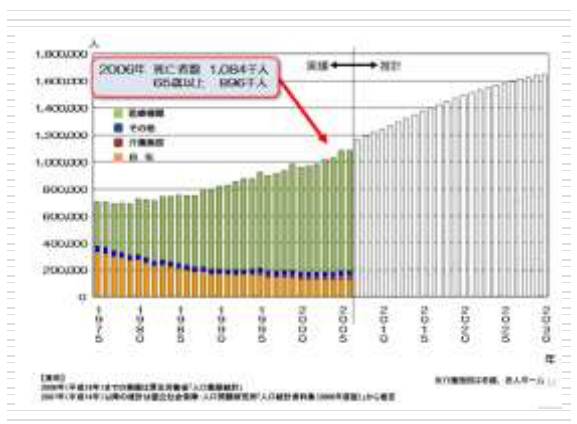
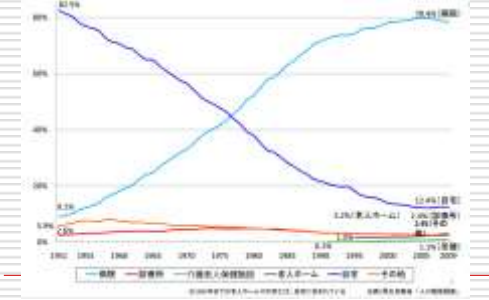


表3 都道府県別高齢者人口の見直し(上位・下位)

	2004年時点の 高齢者人口(万人)	2025年時点の 高齢者人口(万人)	増加数(万人) と増加率(%)	増加数順位
埼玉県	109	196	87 (+80%)	1
東京都	223	308	85 (+38%)	2
神奈川県	143	226	84 (+59%)	3
千葉県	102	173	72 (+71%)	4
大阪府	155	219	64 (+41%)	5
静岡県	30	34	4 (+13%)	43
山梨県	31	35	4 (+13%)	44
徳島県	19	23	4 (+21%)	45
鳥取県	14	17	3 (+21%)	46
高知県	20	22	2 (+10%)	47
全国	2488	3473	985 (+40%)	-



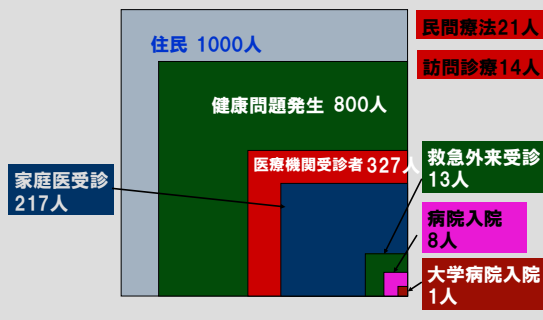
死亡場所の推移



医師として求められる基本的な資質 コアカリ平成22年度改訂版より

- 医師としての職責
- 患者中心の視点
- コミュニケーション能力
- チーム医療
- 総合的臨床能力
- 地域医療
- 医学研究への志向
- 自己研鑽

1ヶ月間における住民健康調査 2001年 New Engl J Med



医療における視点の変化

- ・ 個人 → 地域
- ・ 疾病の治療 → 健康の維持
- ・ エピソードごとの医療 → 継続的で包括的な医療
- ・ 医療のパターナリズム → 交渉による意思決定
- ・ 入院医療 → 地域外来医療
- ・ 経験的な医療 → EBM
- ・ 中央化システム → 地域立脚型プライマリケア
(ロジャー・ジョーンズ、他; Lancet 357:3,2001)
- ・ Ability (即戦力) → Capability (潜在能力)

医学教育における視点の変化

- ・ Teacher-centred → Student-centred
- ・ Information oriented → Problem-based
- ・ Discipline-based → Integrated
- ・ Hospital-based → Community oriented
- ・ Uniform → Elective
- ・ Opportunistic → Systematic

(Harden & Laidlaw: Essential skills for a medical teacher)

研修医は地域で何を学んだか？

- 地域の中で人間の営みを知った
 - 患者ではなく人間を観た
- 疾病でなく疾病を持った人間を知った
 - 全人的医療の実践
- 多くの医療人のかかわりを知った
 - 救急外来 診療所
 - 訪問診療 地域包括支援センター
- 地域医療は究極のオーダメイド医療である

Thank you

地域医療、チーム医療、看取りの教育について

- これからもいろいろな機会を通じて一緒に考えていきたいと思えます

ご清聴
ありがとうございました

